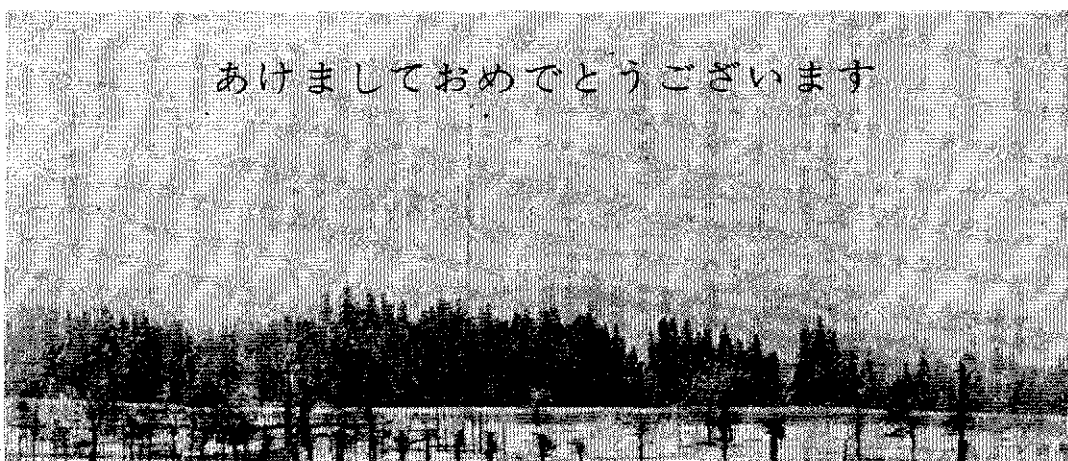


柳宗平

魚沼スカイラインの拠点として将来はスキー場など大観光地開発の夢を持つ当間山麓、東大給木博士の調査では冬期二十万人、夏期十万人、ワリー客十万人計四十万人の誘致が見込まれると診断している。



整備

事業の推進

山謙吉

化するよう努力いたしますが、本年は昭和四十一年度と建設を予定している市庁舎舎の整地と設計、学校関係には第一小学校の建築、これで杉村校長の希望は一巡するところ、今後は内部施設の整備、校舎の補修等に力を得入れ、又本年は前後の協力を俾て人材養成のための奨学金制度を決定しようと思っております。衛生セクターは屎尿処理場、下水道に就いて昨年度火葬場が完成したもので本年は麻生焼却場に着手します。

土不の底では年に二、三億円の仕事費で道路整備をしておりまして、十日町市小千谷間の上り下り、十日町市内は二十年で改良を終了し昭和四十三年度には舗装を完了する予定になっております。

くりにへ

盆の整備

口政太郎

献物の建設として中条小学校の鉄筋コンクリート建築物となり、その中にぎし一年越しとなりましたが、それだけに関係者の意気込みも年あたるとして一層強くなってきた。市の重要産業のひとつであり、工業は一部に融け込まず、農業は一部に融け込んで、平年作を確保したように、商業は経済の不況の中堅

士への底では年に二、三億円の仕事費で道路整備をしておりまして、十日町市小千谷間の上り下り、十日町市内は二十年で改良を終了し昭和四十三年度には舗装を完了する予定になっております。

更なる合理化に大義に努力せられ良い成績を堅持されました。さて本年は十日町市を中心とした地域開発を目指し低賃料、地価上昇抑制政策を強力に推進される第一年度であります。従って、産業基盤整備事業が進展しております。道路、鉄道、通信等の施設整備には特に力が注がれます。

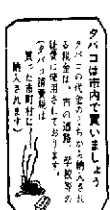
更に十日町市を中心とした工業化促進のため、工業用地の開発条件整備事業と相俟つて、近代化的な都市づくり、市民生活の環境づくりが促進されます。

私ども市議会としても今年こそ栄光の年であるより広い視野の下で皆様ののご期待に沿うべく、物産の振興、農家の近代化、福祉の向上、教育の充実を念願いたす所存でございますので、何分のご理解をお願い申し上げます。

こゝに謹んで市勢の益々発展を祝し年頭のご挨拶といたします。

年度卒業生六千四百六十円。

る税金は、西の道路、学校等
に使用されており、



雪の芸術車窓展など
もり沢山な協賛行事

四、申請用紙 市役所受付、由
社会福祉事務所、各保育所
に準備してありますからお

五、入所資格 十日町市に住民登録をしてあつて、保育に

ことしの成人式

全員の参加を希望しています。
尚成人式立派な服装など整
になりすぎないようにして下さ
い。

季節の話題

しかし旧暦の二月といえば、太陽暦にかえてみると、草や木が芽をふくらまし始める月に当たることから、「草木のなり」と

くらむ月」が約言されて「きまらざ」となったという説もあります。あるいは「湯気がさらさらくる」……「気更来」だともいわれ

る扶養率は市平均九二・四％で、十日町地区八四・四、中条九四・九、下条八九・八、吉田九五・

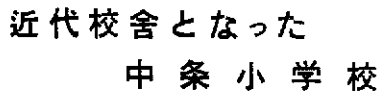
・八、川沿七八・九と山地ほど
 富く青壮年今人口が少ないこと
 物語っています。尚男女比率は
 女一〇〇人に對し男が九七・二
 人で前回に比べ一・六人減つて

に比べて農業経営の中心となるべ

き三十九才までの人口がいずれも減少し、としよりの多い農業化していることを示しています



迈



中条小学校増改築工事 年十二月第二期工事も、教務三階建の近代校舎に生れかわりました。校の改築は去る昭和三年七月十四日富井組の第二期工事に着手、特別教室、普通教室八など、て昨年六月第二期工事つてさらに特別教室二通教室六のが教務員延二二三・四二平方六四二・三四坪）が増されました。総工費は、七〇〇万円

【写真】は増改築された

「公民館発刊（親のねがい子のねがいよう）」

「私選はたいいて夕二間はまなま
べすに父のかゝるのを待ちま
す。でも父はまづつて午の時にむ
ぎつておそくなります。でもか
ら私選は一月中文、顔に思ひな
時だつてあります。そんな時で
も父は平氣な顔をしてます。
母が「一日中家になければ子
供がかわいそうだ」とううと、
父は「仕事があればかたがな
い」といふ。そないなこと
がきつていて二人はよくうふ
げんかをやります。

ものねがい——

金をたくさんくれることです。
おかあさんからもらうと十円か
二十円ぐらいですが、おとうさ
んは五十円ぐらいくれるので
す。一番好きなのはそれくら
いです。

おこうさんはよになるとわな
したにまっつて、おすしやさんへ

なさい。とおこつたやうにいきなりときどきあります。おこつたやうにいうので、ぼくはときどきときどきをだします。おとうさんがおこつたやうにいはなければいけません。なかなかださないのに。

■わたしはおとうさんのすきなところときらいなところがありまふ。まふすきなところ、まふ

■おとうさん、あまりおそく
 っておさけをのんでこないよ
 にしてください。そうするとお
 かあさんがしんぱいするし、つ
 ぎの朝ふつかよいになりますか
 らあまりのんでこないでくだ
 い。

■おとうさんがしやくしよから

245 —